

12 植村俊平法学士の帰朝

〔『法学新報』第一〇号 明治二十五年一月二十五日〕

○植村法学士の帰朝

曾て帝国大学に在りて俊秀の誉れ高く卒業の後は法科大学助教
授として東京法学院講師として大に其光彩を發揮せられたる法
学士植村俊平氏は多年英国に遊学して法学の秘蘊を究め居られ
しが業成り此程無事に帰朝せられたるが二三日前より再び法学
院に講師として聘せられ万国公法の講筵を受持たれたり云ふ
因に記す氏は近々代言人となり大に民間に於て氣焰を吐かる、
と云ふ